

ONCC 12期 江戸時代にタイムスリップ

テーマ 近松ゆかりの地巡り(校外学習)

2024年5月30日

近松記念館及び近隣菩提寺・神社等

(担当1班)

5月の終わり梅雨の訪れを感じさせる天候の中、近松門左衛門のゆかりの土地を訪れました。お初天神のイメージから、梅田かその近辺のイメージが強かった近松の記念館は、尼崎市の久々知という所がありました。なぜその場所との関わりがあったのかという疑問は当日に説明を聞き、十分に理解できました。創作活動の拠点時期が尼崎にもあったということを知りました。

近松公園の中にある近松記念館を見学しながら、江戸の時代背景を考えつつ、また当時の周辺環境などを想像しながらいろいろ興味深い展示作品を見ていきました。

説明者の「近松かたりべの会」山本恵子さんの歯切れの良い説明を聞きながら、先週に学んできた近松の出自の裏付けや、廣濟寺の再興者の日昌上人との関わりなどを知ることができました。また執筆の近松部屋へ上る生活感を感じさせる段梯子、文机なども興味深いものでした。

この記念館は、横綱千代の富士や政治家、宝塚スター等著名人の訪問もあります。

説明を聞き終わった後は、隣にある廣濟寺へ行きました。廣濟寺は日昌上人によって再興されています。近松は日昌上人との関係も深く、お寺の再興のため彼なりの人脈も使い大きな貢献をしたようです。

この寺に現存する近松のお墓には、墓石に戒名が2名並記で刻まれており夫人への深い絆が思われるものでした。近松は自らは作家としての地位の低さを感じ取っていたようであり、自分はまがいもの（特別な能力はない）とも思っていたようです。

ただ彼の法名には院居士など一定の身分のある命名がなされており、お寺再興への貢献、自己評価とは別の世間での高い評価などがわかります。人間としての近松が感じられた、近松記念館への訪れでした。



近松公園入口



近松記念館正面



館内の近松人物画

近松記念館内の諸々展示内容
(外務大臣、横綱、宝塚トップスター他多数の見学者あり)



近松かたりべの会 山本恵子さんによる熱意あふれるガイド
語りと出版

撰津名所図解



諸々の書状

過去帳



これから後の活動は、周辺のお寺及び神社を訪ねました。

○廣濟寺・・・日昌上人が再興したお寺（近松門左衛門菩提寺）

↓

○源氏ゆかりの須佐男神社・・・多田源氏と深いつながりある。

↓

○格式ある式内社：伊佐具神社

・赤松氏墓所（同境内にあり）

↓

無事終了



廣濟寺正面



近松墓所表示



近松門左衛門お墓



須佐男神社境内



須佐男神社遠景



(式内社表示)



伊佐具神社